

WinActorライセンスのご紹介

目次:

1. WinActorライセンスについて
2. ライセンス種類について
3. ライセンス種別について
4. フル機能版/実行版の「管理実行モード」と「管理実行版」
5. インストーラーについて

ライセンス種類とライセンス種別

ライセンス種類

ノードロックライセンス(NL)

1ライセンスで1端末でご利用可能

※同じ端末を複数人で使用も可能



フローティングライセンス(FL)

購入したライセンス数の範囲内でご利用可能

※端末(場所)を問わずご利用可能



ライセンス種別

フル機能版



シナリオの作成・編集

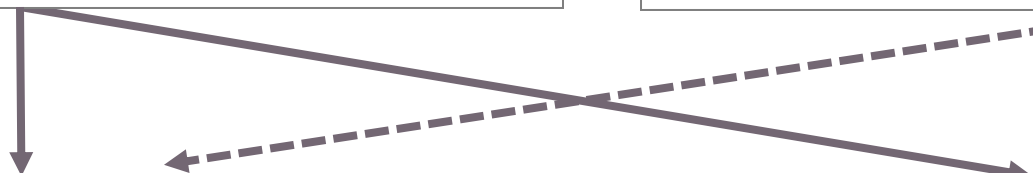
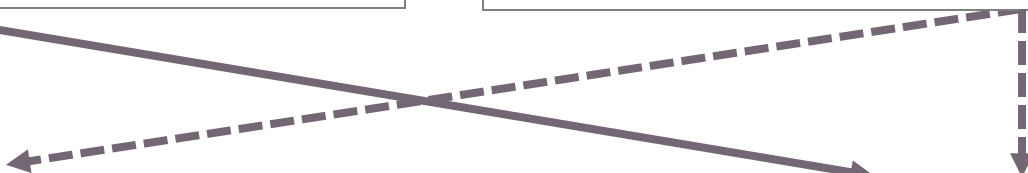


実行

実行版



実行のみ



ライセンス種類: ノードロックライセンス と フローティングライセンス

ノードロック ライセンス

- 特定の端末のみ WinActorが利用可能
- 1ライセンスで1インストールが可能
- ライセンス管理は各端末上で実施
- インストール端末数分のライセンスが必要

(例)NL2ライセンスを導入中の場合

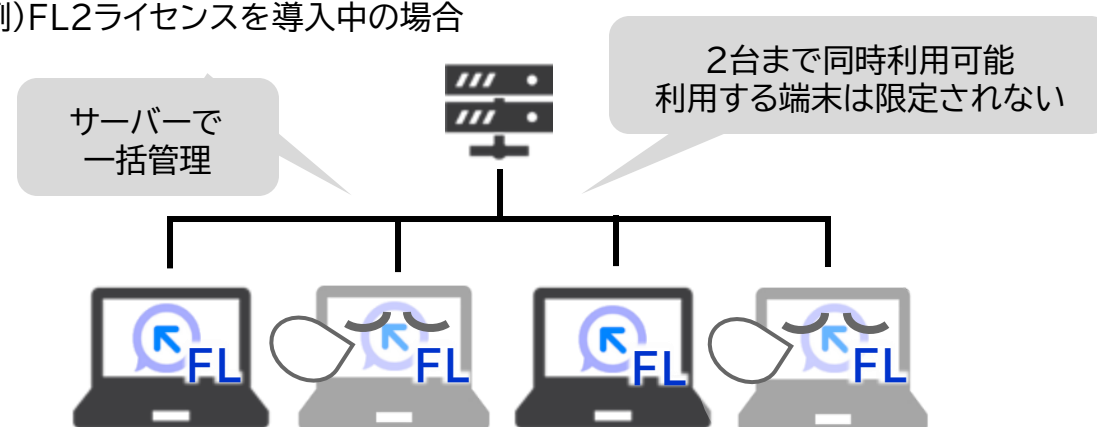


➤ 1台から手軽に導入可能

フローティング ライセンス

- ライセンス管理サーバー上でライセンスを一括管理
ライセンス管理製品(FLA・WMC・WDなど)が必須
- 購入したライセンス数の範囲内で、端末を限定せず
WinActorが利用可能※
- 同時利用する端末数分のライセンスが必要

(例)FL2ライセンスを導入中の場合



※利用予定の全ての端末にWinActor(FL版)のインストールが必要

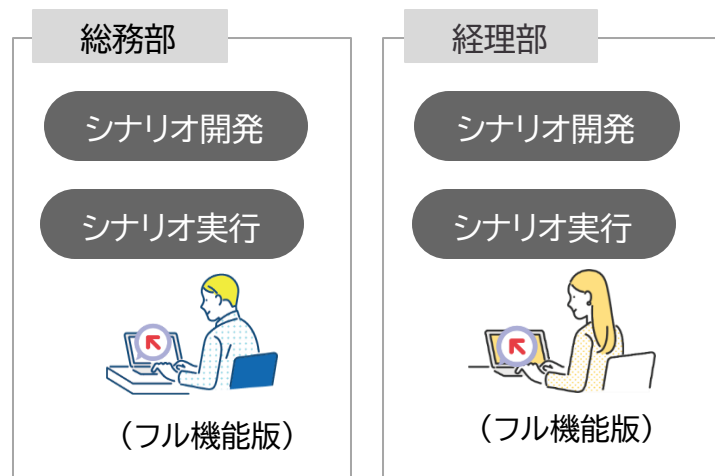
➤ 複数の端末でライセンスの有効活用が可能

ライセンス種別：フル機能版・実行版・管理実行版

フル機能版

- シナリオの開発、編集、実行が可能

(例)部署ごとのシナリオ開発・実行

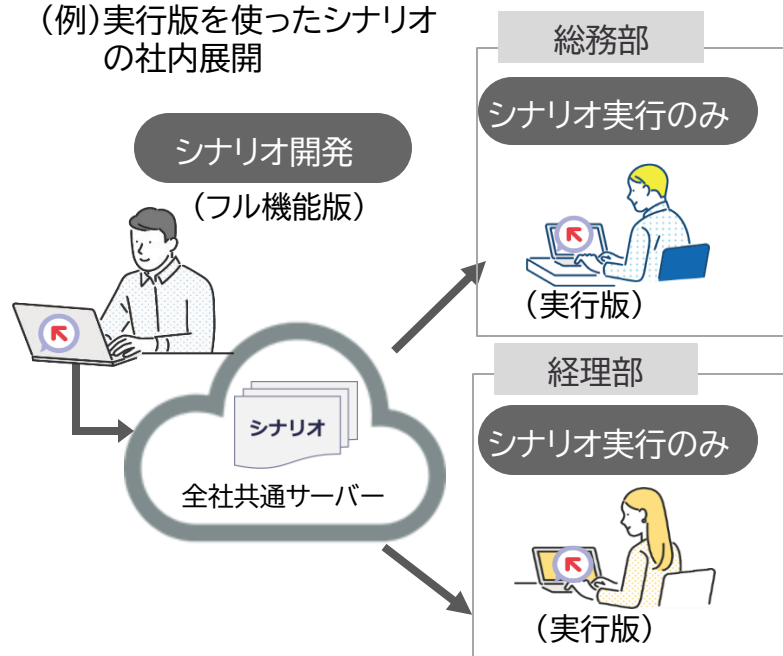


➤ 各部署でシナリオ開発・実行

実行版

- シナリオ実行のみの安価なライセンス
- 利用者によるシナリオ作成／編集は不可

(例)実行版を使ったシナリオの社内展開

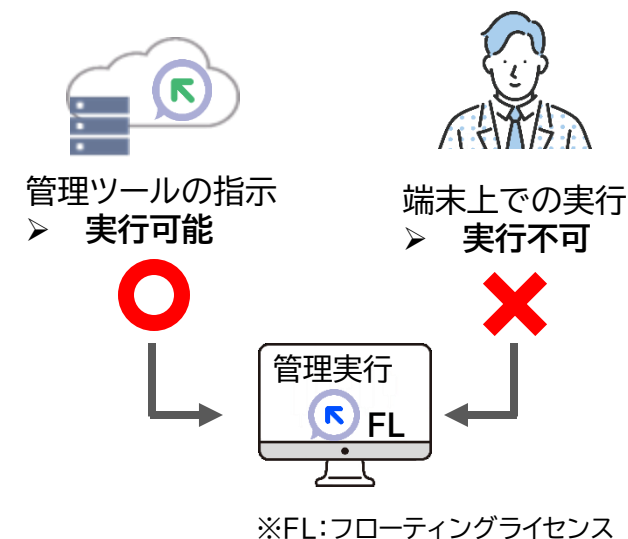


➤ 各部署に同じシナリオを配布。安価なライセンスで社内展開が可能

管理実行版

- 管理ツールの指示のみでシナリオ実行可能
- フローティングライセンスのみで提供
- シナリオ実行中のみライセンスを消費

例：管理実行版を使った実行



➤ スケジュール実行で効率的な利用を実現

※フル機能版／実行版は“管理実行モード”に設定することで管理ツールの指示で実行可能

フル機能版/実行版の「管理実行モード」と「管理実行版」

フル機能版と実行版は、WinActorの設定で「管理実行モード」に切り替えることにより、
管理ツールからの指示のみでシナリオを実行することが可能
ただし、「管理実行モード」に切り替えてもライセンス消費のタイミングは変わらないので注意が必要

ライセンス種別	シナリオ実行のトリガー	ライセンス消費タイミング
フル機能版/実行版 (管理実行モードOFF)	・WinActorをインストールしている端末上の操作 ※管理ツールからの指示はできません。	WinActor起動～WinActor終了の間
フル機能版/実行版 (管理実行モードON)	・管理ツールからの指示のみ	WinActor起動～WinActor終了の間
管理実行版	・管理ツールからの指示のみ	シナリオを実行している間

■ 管理実行版を選択するメリット

- 1. ガバナンス強化
シナリオ実行のトリガーを切り替えられないため、シナリオ実行者を明確に制限できる
- 2. ライセンスの利用効率化
シナリオを実行している間のみライセンスを消費するため利用効率をあげられる

複数ユーザーアカウントでのノードロックライセンス利用について

【クライアントOS(Windows10等)の場合】

管理者ユーザー用インストーラー: (ファイル名: WinActor_v7XX_i_expire_YYYYMMDD_XXdays.zip)

- Windows上の管理者権限でインストールとライセンス登録
- Windowsの複数ユーザーアカウントで同一のライセンスの利用が可能

標準ユーザー用インストーラー: (ファイル名: WinActor_v7XX_inp_expire_YYYYMMDD_XXdays.zip)

- Windows上管理者権限なしでインストールとライセンス登録
- Windowsの複数ユーザーアカウントそれぞれにライセンスが必要

【サーバーOS(Windows Server 2022等)の場合】

インストーラー(管理者ユーザー用・標準ユーザー用)にかかわらず

- ご利用されるWindowsのユーザーアカウント数分のライセンスが必要
- 各Windowsユーザーアカウント毎にライセンス申請と登録が必要

※原則、管理者ユーザー用をご利用いただき、インストールできない等の場合に標準ユーザー用をご利用ください

【参考】 ブラウザ操作のための事前設定

1. WinActorライセンスインストール手順

- ガイドに従ってインストール

2. ブラウザ拡張機能のインストール

- ChromeまたはEdgeの拡張機能インストールマニュアルを参考に、ブラウザ拡張機能をインストール
- インターネット接続がない場合は、ローカルファイルを利用
- ブラウザ拡張機能は、WinActorのバージョンと連動

3. 必要な場合は、Webドライバーの設定

- ブラウザ操作シナリオ作成マニュアルのを参考にWebドライバーのダウンロード
- ブラウザのバージョンが変更されるたびに、Webドライバーの更新が必要
 - オプション>更新で「自動更新」に設定することで、都度のアップデート作業は不要

WinActor[®]が、
仕事を変える。
あなたを変える。
組織を変える。